

日米共同訓練における帯広駐屯地の使用について

○資料 1

国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）の概要について・・・1

○資料 2

国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー：NV）・・・3

○資料 3

米軍再編に係る訓練移転（回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄県外
への訓練移転）に関する訓練計画概要について・・・6

○資料 4

国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）について（補足事項）
・・・7

○資料 5

日米共同訓練の帯広駐屯地の使用に係る主な経過等・・・8

※資料 1～4 は北海道防衛局より提供されたもの

JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)



30.8.23
陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、日米共同による諸職種協同作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図るとともに、「即応機動する陸上防衛力」の構築に資する。

2 期間

平成30年9月10日（月）～29日（土）

3 場所

北海道大演習場、矢臼別演習場、上富良野演習場等

4 担任官

(1) 陸上自衛隊

第2師団幕僚長 1等陸佐 きのだ 木之田 すすむ 進

(2) 米海兵隊

第36海兵航空群長 大佐 ジェームス F. ハープ (James F. Harp)

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

ア 部隊

第2師団第25普通科連隊、第2特科連隊等（約1250名）

イ 装備品

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、12.7mm重機関銃、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲、M24対人狙撃銃、99式155mm自走榴弾砲等

(2) 米海兵隊

ア 部隊

第36海兵航空群、第2海兵師団第2海兵連隊第3大隊、第12海兵連隊（砲兵）第3大隊等（約1500名）

イ 装備品

5.56mm小銃、7.62mm中機関銃、7.62mm狙撃銃、60mm迫撃砲、81mm迫撃砲、対戦車ロケット砲、高機動ロケット砲システム（HIMARS）、航空機（MV-22、CH-53）等

6 備考

本訓練は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在普天間飛行場に所在するティルト・ローター機等の訓練活動を沖縄県外に移転し、実施するものです。

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、西村(担当)

(03-3268-3111 内線40084)

国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー：NV）

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、日米共同による諸職種協同作戦を実施する場
場
場合における相互連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図るとともに、「即応機動する陸上防
衛力」の構築に資する。

2 期間

平成30年9月10日（月）～29日（土）


3 場所

北海道大演習場、矢臼別演習場、上富良野演習場等

4 実施部隊（人員）

- ・ 陸 自：第2師団第25普通科連隊、第2特科連隊等（約1250名）（旭川駐屯地所在）
- ・ 米海兵隊：第36海兵航空群、第2海兵師団第2海兵連隊第3大隊、第12海兵連隊（砲兵）第3大隊等（約1500名）（普天間海兵隊航空基地、沖縄キャンプ・ハンセン等所在）

訓練イメージ

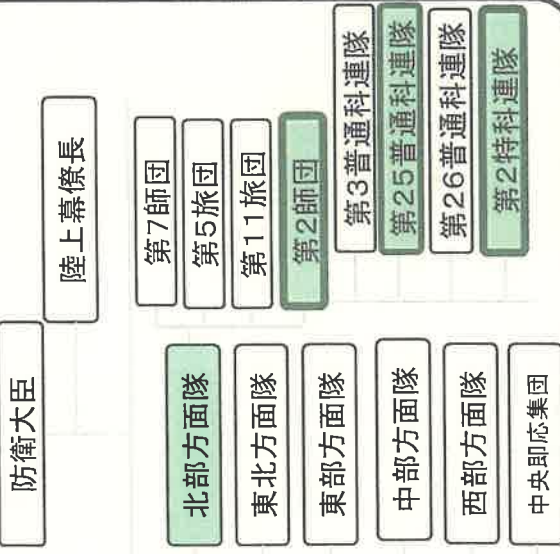
		
		
		

訓練場所

編成・装備

陸上自衛隊

日側：第25普通科連隊、第2特科連隊等
(約1250名)



編成

装備 (一部)

【89式小銃】 【5.56mm機関銃】 【81mm迫撃砲】

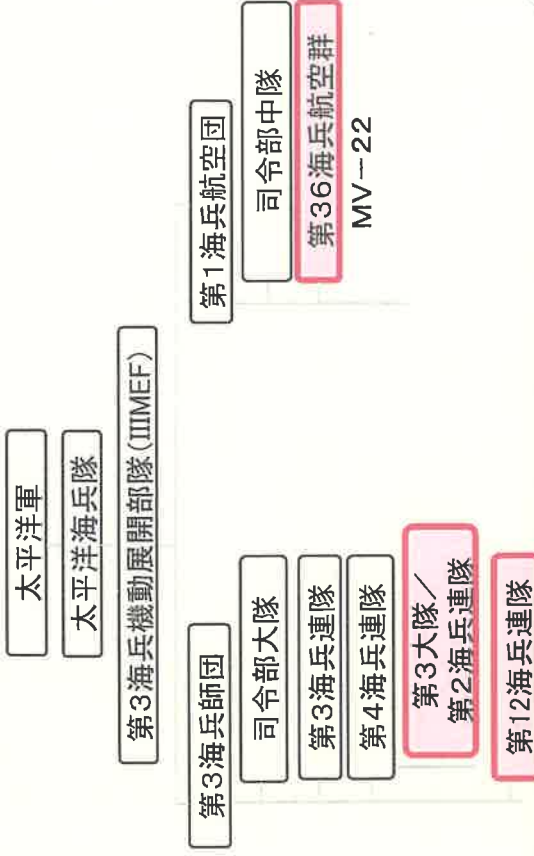


【15HSP】



米海兵隊

米側：第36海兵航空群、第2海兵師団第2海兵連隊第3大隊、
第12海兵連隊(砲兵) 第3大隊等(約1500名)



【5.56mm小銃】



【7.62mm機関銃】



【60mm迫撃砲】



【HIMARS】



【MV-22】



※ 本訓練におけるMV-22オスプレイの訓練については、平成28年9月1日の日米合同委員会合意により検討され、訓練移転の枠組みで実施されることとなった。

全般日程

月	日	曜	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																																																											
			月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日																																																																											
													9																																																																																					
全般	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="9">訓練開始式</td> <td colspan="2">指揮機関訓練</td> <td colspan="2">機能別訓練</td> <td colspan="2">総合訓練</td> <td colspan="4">M-2 体験搭乗</td> <td colspan="8">整備、撤収等</td> </tr> <tr> <td colspan="9"></td> <td colspan="2">指揮機関訓練</td> <td colspan="2">機能別訓練 (戦闘射撃、偵察訓練、 市街地訓練、衛生訓練、 BATRA 戦闘訓練、空中機動) 狙撃班訓練、空中機動)</td> <td colspan="2">機能別訓練 (陣地 攻撃)</td> <td colspan="2">総合訓練 (特科等)</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td colspan="9"></td> <td colspan="2">機能別訓練 (航空等)</td> <td colspan="2">機能別訓練 (特科等)</td> <td colspan="2">機能別訓練 (特科等)</td> <td colspan="8"></td> </tr> </table>																							訓練開始式									指揮機関訓練		機能別訓練		総合訓練		M-2 体験搭乗				整備、撤収等																	指揮機関訓練		機能別訓練 (戦闘射撃、偵察訓練、 市街地訓練、衛生訓練、 BATRA 戦闘訓練、空中機動) 狙撃班訓練、空中機動)		機能別訓練 (陣地 攻撃)		総合訓練 (特科等)																			機能別訓練 (航空等)		機能別訓練 (特科等)		機能別訓練 (特科等)									
訓練開始式									指揮機関訓練		機能別訓練		総合訓練		M-2 体験搭乗				整備、撤収等																																																																															
									指揮機関訓練		機能別訓練 (戦闘射撃、偵察訓練、 市街地訓練、衛生訓練、 BATRA 戦闘訓練、空中機動) 狙撃班訓練、空中機動)		機能別訓練 (陣地 攻撃)		総合訓練 (特科等)																																																																																			
									機能別訓練 (航空等)		機能別訓練 (特科等)		機能別訓練 (特科等)																																																																																					
北大演	展開・訓練準備 準備訓練																																																																																																	
上富良野	機能別訓練 (航空等)																																																																																																	
矢白別	機能別訓練 (特科等)																																																																																																	

(お知らせ)

平成30年8月23日
防 衛 省

米軍再編に係る訓練移転（回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄
県外への訓練移転）に関する訓練計画概要について

回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄県外への訓練移転（日米共同訓練：国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー））に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回の訓練移転は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在普天間飛行場に所在するティルト・ローター機等の訓練活動を沖縄県外に移転するものであり、今回で訓練移転は6回目（国内5回、グアム等1回）となります。

- 訓練期間：平成30年9月10日（月）～9月29日（土）
- 参加部隊：〔米軍〕
第36海兵航空群第265海兵隊中型ティルト・ローター機飛行隊（普天間）、第2海兵師団第2海兵連隊第3大隊、第12海兵連隊（砲兵）第3大隊等
〔陸上自衛隊〕
第2師団第25普通科連隊、第2特科連隊等
- 訓練場所：北海道大演習場、矢臼別演習場、上富良野演習場等
- 訓練項目：ヘリボン訓練、空挺降下訓練等
- 参加規模：〔米軍〕
MV-22×6機程度、CH-53×4機程度等
※人員、物資輸送のため輸送機の飛来もあり得る。
人員1500名程度
〔陸上自衛隊〕
人員1250名程度

※1 MV-22は、本訓練の機体整備等のため帯広駐屯地を使用予定です。

※2 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

30. 8. 23

北海道防衛局

国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）について
（補足事項）

平成30年9月に実施する本訓練に際しては、米海兵隊の航空機であるMV-22及びCH-53の機体整備等のため、帯広駐屯地及び十勝飛行場を以下のとおり使用する計画です

【使用期間】 9月10日～9月29日（土日を含む）

【使用部隊】 第36海兵航空群第265海兵隊中型ティルトローター機飛行隊等

【使用内容】 機体整備、航空機の離発着等

- 【その他】
- 1 基本的に毎日離着陸をします。
 - 2 離発着時間は陸上自衛隊と同様に8時から最大22時までです。
 - 3 場周経路を含む使用の態様も、陸上自衛隊と同様です。
 - 4 本紙記載事項に変更等が生じた場合は、その都度お伝えします。

以上

日米共同訓練における帯広駐屯地の使用に係る主な経過等

月 日	主 な 経 過
05月17日	北海道防衛局職員が来庁（訓練予定に関する説明） ○北海道内で実施予定の日米共同訓練について、帯広駐屯地十勝飛行場をオスプレイなど航空機の離発着拠点としての使用を検討
05月30日	北海道防衛局職員が来庁（帯広市の考えを説明） ○安全性にする市民の不安が払拭されている状況にあるとは言い難く、市街地に近い十勝飛行場を離発着の拠点とすることは、本市として懸念があり、積極的に受け入れる状況にはない
06月05日	北海道防衛局に帯広市の考えを改めて連絡 ・先方からの求めを受け、副市長より局長に連絡 ・翌日、先方より訓練の内容は継続的に検討する旨の連絡
07月26日	市長コメントを発出（これまでの経過を報告）
07月27日	市民団体からの申し入れ
07月30日	定例記者会見（質疑対応）
07月30日	市民団体からの申し入れ
07月31日	市民団体からの申し入れ
08月07日	市民団体からの申し入れ
08月08日	北海道防衛局職員が来庁（市民の反応を伝達） ・市民団体から受けた申し入れの内容等を伝達したほか、検討状況等の情報を収集
08月22日	市民団体からの申し入れ
08月23日	北海道防衛局職員が来庁（訓練の実施に関する説明） ・午後公表予定の内容に加え、帯広駐屯地十勝飛行場の使用に関する説明 市長コメントを発出（今後の対応を報告）